

【ピックアップ】はたこうしろうが描く夏の絵本3冊

今回の展示では、絵本作家・イラストレーターのはたこうしろうさんの作品を3冊ご用意しました。いずれも少年が過ごす夏の日を描いたものですが、その作画から受ける印象は大きく異なるでしょう。海辺の家を訪れた子どもたちを描く『まほうの夏』。虫捕りに出かけた少年が、小さなつまぎを繰り返し返しながらも元気いっぱい一日を過ごす『なつのいちにち』といった作品では、夏の出来事を通じて少年が成長する様子が描かれます。『うみ』は少し趣が変わり、出産をひかえた母親と海とを、命が生まれてくる場所として重ねて表現している、静かな印象の作品です。

タイトル	著者	出版者	出版年	担当者からのコメント	ISBN
まほうの夏	藤原一枝・はたこうしろう/作 はたこうしろう/絵	岩崎書店	2002	都会で退屈していた男の子が弟と飛行機に乗って海辺にあるお母さんの田舎に行きます。勝手が違う暮らしの中ではじめは戸惑うものの、自然あふれる環境にすぐに慣れていきます。短い夏の間大きく育つ子どもたちがいきいきと描かれている作品です。	978-4-265-03472-7
なつのいちにち	はた こうしろう/ 作	偕成社	2004	大きな麦わらにアミを持って、一人で虫捕りに向かう男の子。容赦ない日射しが照りつける里の情景や、木漏れ日あふれる森の中などは、画面を超えて現場の空気が感じられそうなほどの情感にあふれています。	978-4-03-331340-5
うみ	中川ひろたか/文 はたこうしろう/ 絵	自由国民社	2011	もうすぐお母さんが赤ちゃんを産む。少年は母の姿と海を重ね合わせ、そこに命が誕生する場所としての姿を見出します。海の青色のなかに母親や少年が着ている服などの赤色が浮かぶ、色の対比がきれいな作品です。	978-4-426-11057-4

【ピックアップ】小泉るみ子が描いた夏の出来事『バスをおりたら』と『ねたふり』

北海道美唄市に生まれた小泉るみ子さんは、「四季のえほん」シリーズなどの作品で、北の大地の自然を舞台に多感な時期を迎えた少女の心情を描きだしました。今回の展示では、学校帰りに車をしようとバスに乗ってしまったばかりに、広い野原で迷子になってしまう『バスをおりたら』と、家族総出で野菜の収穫を行っているなか、一人納屋にこもってさぼってしまう『ねたふり』を用意しました。主人公の少女は、決して強い心の持ち主ではなく、ちょっとつらい気持ちを味わう羽目になってしまいます。少女が感じる心細い気持ちや不安などは、多くの人にとって共感できるところがあるのではないのでしょうか。

バスをおりたら	小泉るみ子/作・絵	ポプラ社	2004	家から遠い学校にいつも歩いて通っている「わたし」は、ある夏の日、とうとうバスに乗る。けれども、バスは家から遠く離れた所へ行ってしまう…。野原をさ迷う少女の不安な感じがよく描かれています。その中で大切に持ち続けたりコーダーは彼女にとってどんな意味があるものなのかを考えるのも楽しいかもしれません。	978-4-591-08218-8
ねたふり	小泉るみ子/作・絵	ポプラ社	2006	夏休みのある日、家族総出で野菜の収穫に大忙しのなか、「わたし」は手伝いから逃げ出してしまう。開き直ってみたり、気まづくなって家族の前に出にくくなってしまったり…。揺れ動く気持ちがうまく描かれています。	978-4-591-09326-9

【ピックアップ】夏のもうひとつの顔、台風

ここ数年、8月から10月頃にかけてひっきりなしに訪れて被害をまき散らしていく台風。決して愉快的な存在ではありませんが、絵本の世界ではただの厄介者というわけでもなさそうです。みやこしあきこさんの『たいふうがくる』に登場する少年は想像のなかで台風に立ち向かう船に乗り込み、武田美穂さんが描く『たいふうのひ』の主人公の男の子は台風の訪れを前にしてなんだか楽しそうに微笑みます。作風がまったく違う2作品ですが、比べて読むと面白いですよ。

たいふうがくる	みやこしあきこ/作	BL出版	2009	家族で海へ出かける予定を台風につぶされた少年。台風が近づいてくるにつれて、出かけることができなかった不満は不安へと変わっていく。白黒で描かれた絵は、強風で霧のようになった水しぶきを迫力いっぱいに描きます。怖がる男の子の表情がとてかわいい。	
たいふうのひ	武田 美穂/作	講談社	2017	おじいちゃんのうちへ遊びに来た男の子とお姉ちゃん。台風が来るとの予報に男の子はちょっとワクワクします。武田美穂独特の愛らしい絵で描かれる作品ですが、風向きの変化や音の様子など、とてもリアルに台風が表現されています。	

他に展示していた本

タイトル	著者	出版者	出版年	ISBN
あるなつのいちにち	野風 そら/え・ぶん	碧天舎	2005	978-4-7789-0022-9
海からきたおじちゃん:改訂新版	織茂 恭子/作	童心社	2010	978-4-494-01242-8
うみのいえのなつやすみ	青山 友美/作	偕成社	2008	978-4-03-331550-8
うみのいろのパケツ	立原 えりか/文	講談社	2013	978-4-06-132550-0
うみへいったひ	相野谷 由起/作・絵	ひさかたチャイルド	2008	978-4-89325-768-0
黄金の夏休み	最上 一平/作	文溪堂	2013	978-4-7999-0005-5
おつきよちゃんとかっぱ	長谷川 摂子/文	福音館書店	1997	978-4-8340-1464-8
おばけぼうやのかいすいよく	わたなべ ゆういち/著	佼成出版社	2014	978-4-333-02658-6
ざっそうの名前	長尾 玲子/作	福音館書店	2013	978-4-8340-2797-6
すいか!	石津 ちひろ/文	小峰書店	2013	978-4-338-26111-1
ともこのかいすいよく	荒川 薫/さく	こどものとも社(販売)	2017	
夏がきた	羽尻 利門/作	あすなる書房	2017	978-4-7515-2830-3
なっちゃんのなつ	伊藤 比呂美/文	福音館書店	2019	978-4-8340-8466-5
夏とおとうと	ふくだ いわお/作	光村教育図書	2019	978-4-89572-238-4
なつのおうさま	薫 くみこ/作	ポプラ社	2007	978-4-591-09809-7
なつのおとずれ	かがくい ひろし/作・絵	PHP研究所	2008	978-4-569-68781-0
なつのおとみつけた	みやじま みほこ/さく・え	星雲社(発売)	2020	978-4-434-27021-5
なつはひるね	村上 康成/作	フレーベル館	2015	978-4-577-04288-5
はだしになっちゃん	小長谷 清実/ぶん	福音館書店	2014	978-4-8340-8090-2
ぼくのしんせき	青山 友美/作・絵	岩崎書店	2010	978-4-265-07035-0
みさき	内田 麟太郎/文	佼成出版社	2009	978-4-333-02386-8
ミシェルの夏休み	みや けいこ/ぶん	新風舎	2005	978-4-7974-7464-0
みずやりとうばん	くすのき しげのり/作	廣済堂あかつき	2015	978-4-908255-04-5
むぎわらぼうし	竹下 文子/作	講談社	2006	978-4-06-132333-9
ようかいえんのかいすいよく	白土 あつこ/作・絵	ひさかたチャイルド	2016	978-4-86549-073-2
よるのおと	たむら しげる/著	偕成社	2017	978-4-03-232480-8



大阪市立城東図書館

大阪市城東区中央3-5-45 06-6933-0350

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>